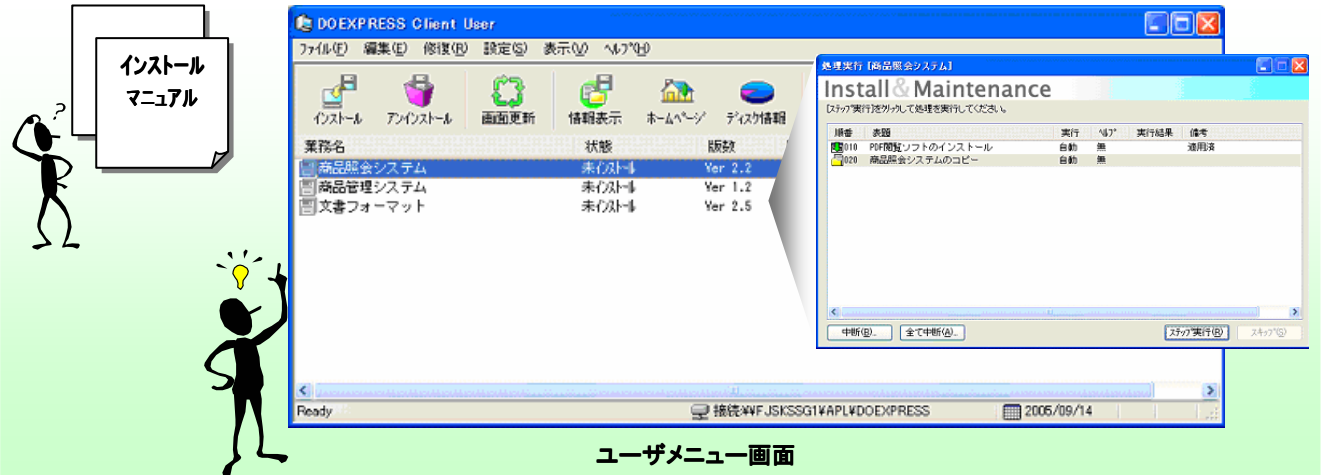


DOEXPRESS V1.0 製品概要

1. DOEXPRESS Client Manager, Client User 機能

DOEXPRESS Client Manager, Client User はソフトウェアのインストール/メンテナンスを支援するツールです。管理者は事前にインストール手順(複数の製品から構成された業務システム)を一連の流れで登録しておきます。ユーザは、管理者が登録した業務システムの中から利用したい業務システムを選択して各自のパソコンへインストールまたはバージョンアップすることができます。

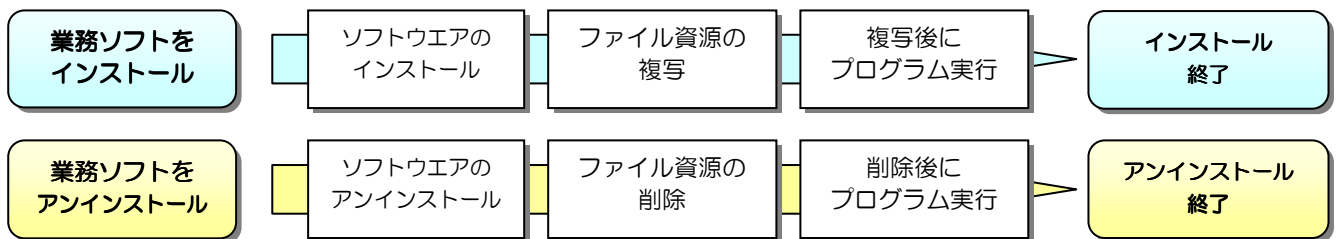
これで、ユーザはマニュアルを参照しながらのインストール/メンテナンス作業から開放され、日常の業務に専念することができます。管理者は、ユーザ全員に手軽に業務システムを展開することが実現できます。



頻繁にバージョンアップを行う業務システムは、資源配布サーバに新しいモジュールが配布されるたび自動バージョンアップすることができますので確実に適用ができます。(ユーザクライアント起動時にポップアップ画面が表示されます)



業務システムのインストール/アンインストールの仕組みは以下の通りです。



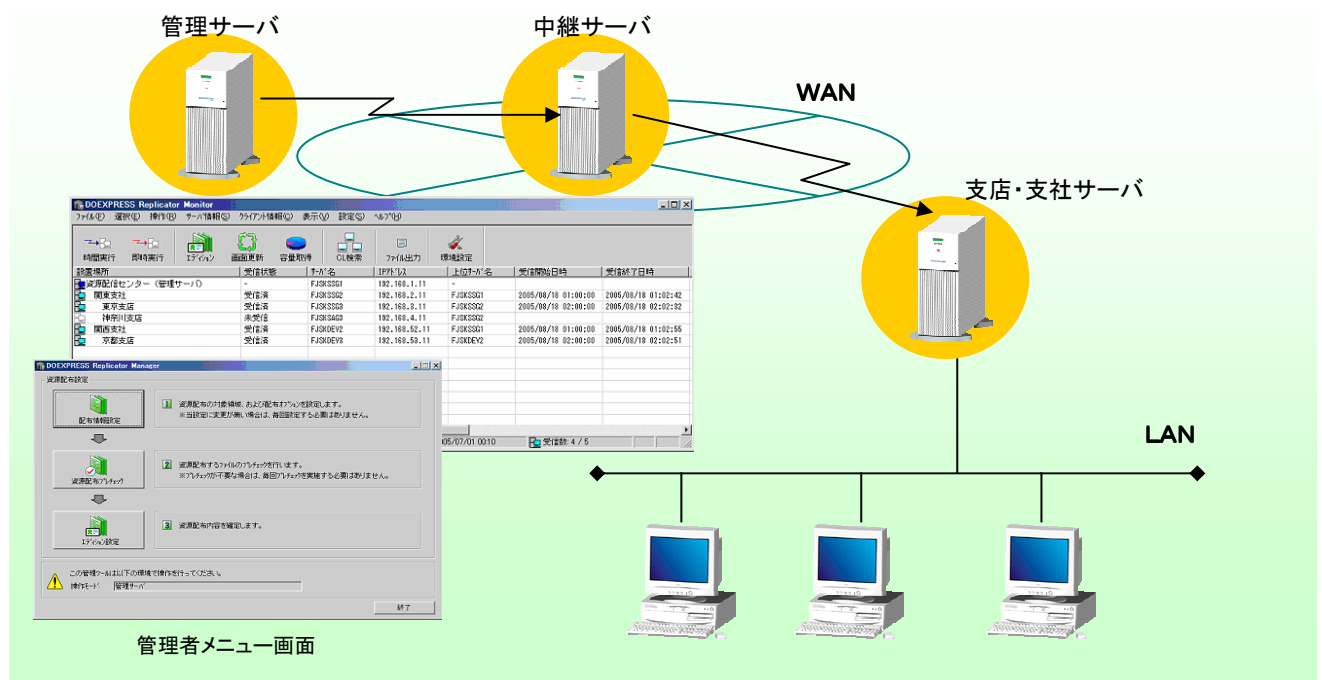
- ※ソフトウェア 業務システムの動作に必要なソフトウェア製品やランタイムライブラリなどのインストールです。ソフトウェア製品のサイレントインストール機能(WindowsInstaller 等)を利用した場合、ユーザの操作無しでインストールができます。
- ※ファイル資源 業務システムを構成するファイル資源です。ファイルコピーのみで適用できる業務システムは自動的にユーザクライアントにコピーできます。また、セットアップ後にローカルデータベースなどをコピーする場合にも便利です。
- ※プログラム実行 ソフトウェア、ファイル資源を適用した後にユーザプログラムを実行させることができます。

利用者は、煩雑なインストール、バージョンアップ作業から開放され業務に専念できます。管理者は、手軽にソフトウェア配布ができます。

2. DOEXPRESS Replicator Manager, Replicator Receiver 機能

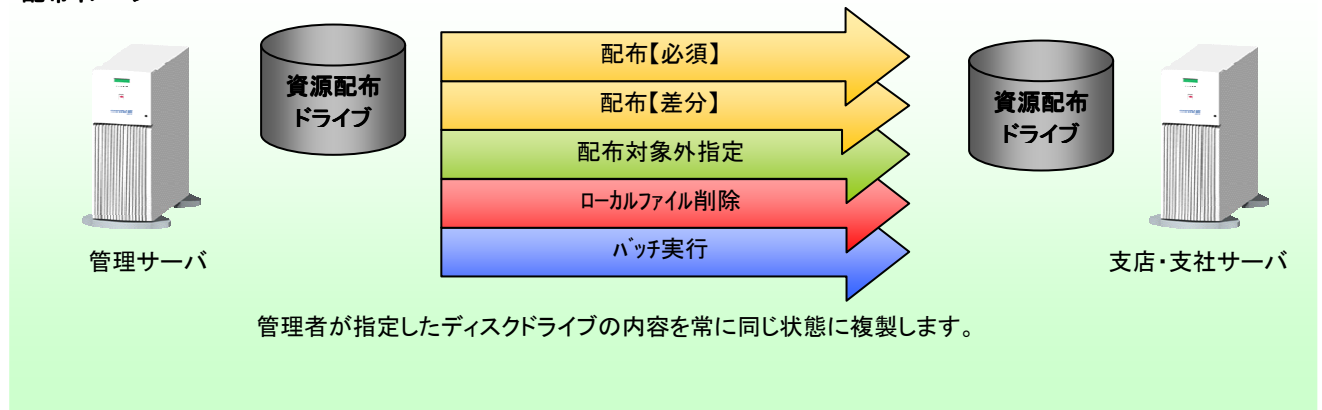
DOEXPRESS Replicator Manager, Replicator ReceiverはWindows サーバのファイル転送機能(FTP サービス)を利用してリモートサーバへファイル配布を行います。管理サーバ～支店・支社サーバへ階層的に業務システムの配布が行えるようになります。

構成イメージ



※Windows 2000 Server 以降の Windows サーバと Internet Information Server(IIS)環境が必要です。
 ※中継サーバは大規模運用する場合に設置することを推奨します。小規模運用の場合には必要ありません。

配布イメージ



主な機能

配布【必須】	管理者が指定したファイルは無条件に配布します。
配布【差分】	管理者が指定したファイルの更新日付／サイズをチェックして差分のみ配布します。
配布対象外指定	配布を行わないフォルダ／ファイルを指定できます。(配布【差分】に対して有効)
ローカルファイル削除	配布先サーバのローカルファイルを削除します。
バッチ実行指示	配布先サーバのファイル配布終了後、バッチの実行指示を行えます。

3. 機能概要

No	機能		機能概要	
1	導入／展開	自動インストール	サイレントインストール	導入時に設定ファイルを事前作成することで、インストール作業を自動化できます。
2	資源配布	クライアント	自動インストール	MSI(マイクロソフトインストーラ)、その他サイレントインストールに対応した製品(アプリケーション、パッチ)を自動インストールします。(注1) 既に適用済みの製品はスキップすることができます。
			手動インストール	インストール時に利用者操作が必要な製品をインストールする際は、インストーラの呼出し後、利用者操作が完了するまで次の処理を待ち合わせします。
			インストール順番	アプリケーション、パッチを複数インストールする場合は、管理者が決めた順番で適用ができます。
			ファイル配布	ファイル(フォルダ含む)をクライアントに差配布します。(注2)
			レジストリ変更	レジストリファイルの内容に従い、クライアントのレジストリを変更します。
			バッチ実行	資源配布の前後にバッチ実行ができます。
			管理者権限切り替え	管理者権限に切り替えて、製品のインストール、レジストリ変更ができます。
			自動サーバ切り替え	通常接続の資源配布サーバが停止時に、自動的に代替の資源配布サーバに切り替えることができます。
			適用日時指定	指定された日時以前に資源適用が行われないように制限することができます。
			利用者制限	利用者による資源配布のキャンセルを無効化することができます。
			アップデート	本製品のクライアントモジュール自体の自動アップデートができます。(注2)
		常駐無し設定	負荷軽減を実現するためプログラムを常駐させない設定が可能です。(注3)	
		サーバ	ファイル配布	WAN、LAN 環境でサーバ間のファイル(フォルダ含む)配布を行い、サーバ間の資源同期を差分で行うことができます。
			バッチ実行	資源配布の後にバッチ実行ができます。
適用日時指定	指定された日時以前に資源適用が行われないように制限することができます。			
		資源配布サーバの階層対応	資源配布サーバの階層構成ができます。階層数の制限はありません。	
3	管理	クライアント	クライアントリスト管理	管理者によるクライアントリストの作成ができます。CSV ファイルによる一括登録も可能です。
			インベントリ管理	配布した業務のインベントリ管理ができます。資源適用が完了していないクライアントを検索することが可能です。
			ファイル出力	インベントリ結果を CSV ファイルで出力することができます。
		サーバ	サーバリスト管理	管理者によるサーバリストの作成ができます。CSV ファイルによる一括登録も可能です。
			インベントリ管理	サーバ間同期のインベントリ管理ができます。
			ファイル出力	インベントリ結果を CSV ファイルで出力することができます。
		ディスク情報照会	資源配布サーバのディスク空き容量を表示することができます。	
4	リモート操作	クライアント	コマンド実行	資源配布が完了していないクライアントに対し、クライアントの資源配布モジュールをリモートで起動することができます。(注4)
		サーバ	コマンド実行	資源配布に失敗しているサーバに対し、サーバの資源配布モジュールをリモートで起動することができます。(注4)

(注1) サイレントインストールのための引数は、管理者側で設定します。サイレントインストールができない製品の自動化対応については個別対応になります。Windows セキュリティパッチ、MS-Office、Adobe Reader 等の自動化対応についても個別対応になります。

(注2) OS が排他使用しているファイルは再起動後に反映されます。

(注3) 常駐無し設定を行った場合、リモート操作機能は使用できません。

(注4) リモート操作で、コマンド発行を行うための通信ポートが利用できる必要があります。ルータの設定にご確認ください。

4. 動作環境

●クライアントパソコン

機種 : IBM PC/AT 互換機
OS : Windows2000 Professional、WindowsXP Professional が動作するパーソナルコンピュータ
必要メモリ : 32MB 以上
必要容量 : 5MB 以上

●サーバシステム

機種 : Intel 製 CPU 搭載のサーバコンピュータ
OS : Windows2000 Server、Windows Server 2003 の稼動するシステム
必要メモリ : 32MB 以上
必要容量 : 10MB 以上(プログラムと管理情報のみ。配布資源は含みません)

●ネットワーク

クライアントからサーバへネットワークドライブの割り当てが可能であることが必要です。
DOEXPRESS Replicator Manager, Replicator Receiver 使用の場合、LAN, WAN環境でFTP転送が可能であることが必要です。

価格は次のとおりです。

商 品 名	価 格
DOEXPRESS V1.0	9,000 円

※価格に消費税は含まれておりません。

※導入支援、サービス商品のお問い合わせは弊社担当営業までご連絡ください。

※大量で一括購入する場合、弊社担当営業までご相談ください。

DOEXPRESS は株式会社富士通四国システムズの製品です。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

- 改良のため予告なしに仕様・デザイン等を変更する場合があります。

2005.12